



喜入地域

KIIRE AREA



喜入地域の自然百選

- 088 喜入中名海岸
- 089 愛宕川河口の干潟
- 090 八幡川河口の干潟
- 091 キイレツチトリモチ発見の地
- 092 旧麓水路の清流
- 093 喜入南方神社周辺の森林
- 094 喜入一倉町のかじか公園
- 095 喜入前之浜海岸
- 096 喜入生見のメヒルギ産地とハマボウの群生地
- 097 喜入生見海岸
- 098 千貫平自然公園
- 099 井手之河
- 100 帖地の山の神が祀られる森林

自然百選

088

ウミガメが上陸する砂浜



ナカミョウ 喜入中名海岸

瀬々串から中名に至るまでの海岸は、防潮壁の前面に磯浜と砂浜が広がっています。ここではカニ類やウニ、カサゴなどの漁場となっているほか、ウミガメが上陸・産卵することもあります。

冬には青のり(ヒトエグサ)の養殖が行われ、収穫された青のりは、生のりや冷凍のりとして出荷・販売が行われています。

アクセス*

- JR中名駅から徒歩約10分
- 鹿児島交通・あいばす「中名駅前」バス停から徒歩約7分

DATA

圏 鹿児島市喜入中名町



* ダイア改正等により、バス停の名称等が変更される場合もあります。
* 表記の行程時間は目安です。

自然百選
089

メヒルギが自生する
マングローブ林



アタゴガワ 愛宕川河口の干潟

八幡川と愛宕川の河口は繋がっていて、干潮時には干潟が姿を見せます。愛宕川河口は熱帯から亜熱帯に生育するメヒルギが自生し、マングローブ林を形成しています。ヒメカノコガイなどの希少種の生息が確認されていて、県のレッドデータブックには「規模は小さいが重要な中小河川の河口干潟」として掲載されています。

アクセス*

- JR中名駅から徒歩約20分
- 鹿児島交通・あいばす「道の駅喜入」バス停から徒歩約10分
- 鹿児島交通「中名」バス停から徒歩約8分

DATA

園 鹿児島市喜入町



自然百選
090

希少な水生生物の産地



ハチマンガワ 八幡川河口の干潟

八幡川と愛宕川の河口は繋がっていて、干潮時には干潟が姿を見せます。県の準絶滅危惧種に選定されたマクガイやハクセンシオマネキの生息が確認されていて、河畔ではカワセミなどの野鳥も観察できます。愛宕川河口干潟とともに多くの希少種の健全産地となっていて、県のレッドデータブックには「規模は小さいが重要な中小河川の河口干潟」として掲載されています。

アクセス*

- JR喜入駅から徒歩約20分
- 鹿児島交通「マリニピア喜入前」バス停から徒歩約5分
- 鹿児島交通・あいばす「道の駅喜入」バス停から徒歩約1分

DATA

園 鹿児島市喜入町



自然百選
091

この地で発見、命名された寄生植物



キイレットトリモチ発見の地

キイレットトリモチは、1911年に喜入総合運動公園の一面であるこの地で発見され、命名されました。シャリンバイやトベラなどの特定の樹木の根もとに寄生し、11月頃に高さ10~15cm、直径2cmほどの黄白色円筒形の茎を地上に出す1年生の珍しい植物です。ここは市の文化財に指定されており、本種は、吉野町などでも生育しています。

アクセス*

- JR喜入駅から徒歩約15分
- 鹿児島交通・あいばす「旧市」バス停から徒歩約20分
- 鹿児島交通・あいばす「喜入支所」バス停から徒歩約10分

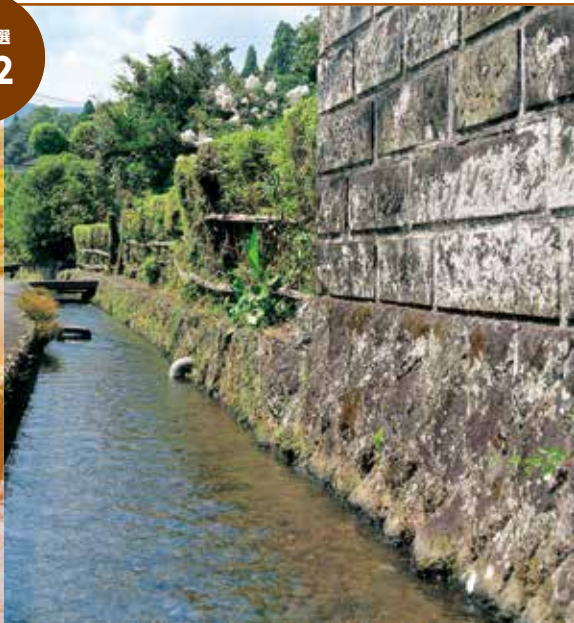
DATA

園 鹿児島市喜入町



自然百選
092

武家屋敷のたたずまいが残る空間



モトフモト

旧麓水路の清流

給黎城の城下町(旧麓)に流れていた水路が現存し、武家屋敷のたたずまいが残る歴史的な空間となっています。水路は幅約1m、長さ約500mで、1年を通じてきれいな水をたたえ八幡川に流れ込んでいます。周辺の田んぼを潤すほか、住民が野菜を洗ったり冷やしたりする姿が見られ、地域に親しまれる清流となっています。

アクセス*

- JR喜入駅から徒歩約30分
- あいばす「大正橋前」バス停から徒歩約3分

DATA

園 鹿児島市喜入町



自然百選
093

巨木が立ち並ぶ境内



ミナミカタ

喜入南方神社周辺の森林

鳥居をくぐり、大きなスギが立ち並ぶ苔むした参道を進むと、木漏れ日に照らされた社殿が姿を見せます。社殿を囲むようにスギ林が広がる境内には、クスノキやムクロジの巨木が立ち並び、その幹の太さやうねるように伸びる枝ぶりの姿に圧倒されます。周辺の森林が涵養した地下水は、水道水源として利用されています。

アクセス*

- JR喜入駅から徒歩約40分
- あいばす「大正橋前」バス停から徒歩約10分

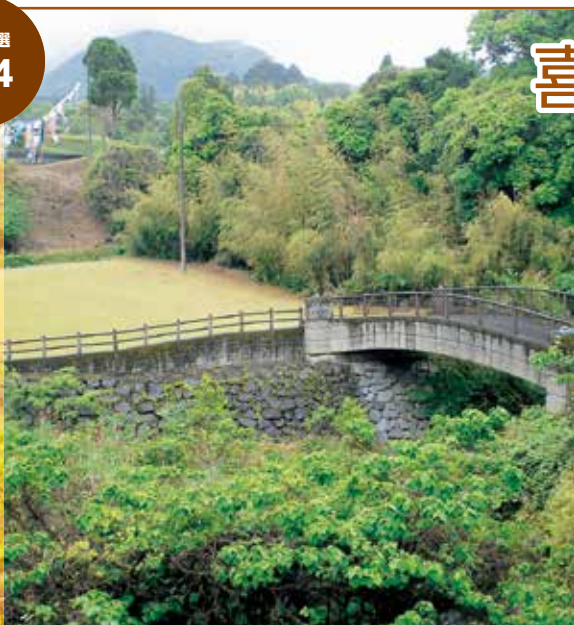
DATA

園 鹿児島市喜入町



自然百選
094

カジカガエルが鳴く里



ヒトクラ

喜入一倉町のかじか公園

喜入の一倉小学校近くに八幡川が流れています。樹林間を流れる清流には早瀬や淵がいくつも見られ、ホタルが舞い、メダカが泳ぎ、鹿のようにフィフィと鳴くことから名がついたカジカガエル、他の地域とは違う青紫色のサワガニなどが生息する自然豊かな空間となっています。護岸の階段から水際に降りることができる親水広場となっています。

アクセス*

- JR喜入駅から徒歩約1時間
- 鹿児島交通・あいばす「一倉小前」バス停から徒歩約5分

DATA

園 鹿児島市喜入一倉町



※ダイヤ改正等により、バス停の名称等が変更される場合もあります。
※表記の行程時間は目安です。

自然百選
095

ウミガメが上陸する砂浜



喜入前之浜海岸

防潮壁の前面に砂浜が広がり、毎年のようにウミガメが上陸・産卵し、稚ガメが海へと帰っていく母なる浜となっています。地元の小中学生や企業が定期的に清掃活動を行い、海岸の保全に取り組んでいます。また、貝底川河口には明治43年に造られた2連アーチの石橋が架かっています。

アクセス*

- JR前之浜駅から徒歩で約3分
- 鹿児島交通・あいばす「前之浜駅前」バス停から徒歩約1分

DATA

☑ 鹿児島市喜入前之浜町



自然百選
096

南方系植物の自生北限地

喜入生見のメヒルギ産地とハマボウの群生地

熱帯から亜熱帯の河口干潟に生育するメヒルギの自生北限地として、国の特別天然記念物に指定されています。メヒルギはその果実が琉球のコウガイ(かんざし)に似ているところからリュウキュウコウガイとも呼ばれています。また、一画にはハマボウの群生地があり、夏に黄色の花を咲かせ、方言では「ヒシテバナ」と呼ばれています。

アクセス*

- JR生見駅から徒歩約30分
- 鹿児島交通・あいばす「久津輪」バス停から徒歩約10分

DATA

☑ 鹿児島市喜入生見町



自然百選
097

松林が広がる砂浜



喜入生見海岸

喜入生見町の国道226号沿いの海岸は、防潮壁を隔てずに砂浜と松林が広がっています。夏には海水浴場が開設され、眼前に桜島を眺め、松林の木陰で憩いながら海水浴を楽しむことができます。生見小学校では毎年夏に遠泳大会を開催しています。砂浜では、ハマヒルガオなどの海浜植生も見られ、ウミガメが上陸・産卵することもあります。

アクセス*

- JR生見駅から徒歩約10分
- 鹿児島交通・あいばす「生見海水浴場前」バス停から徒歩約1分

DATA

☑ 鹿児島市喜入生見町



自然百選
098

草原性昆虫の生息地



センガンピラ 千貫平自然公園

南九州市との境に位置し、開聞岳、錦江湾などの眺望を楽しむことができます。5月には園路沿いのツツジが色とりどりに咲きほころびます。遷移により森林化が進んでいますが、薩摩半島には少ない草原性昆虫類の生息地として注目されています。

アクセス*

- JR生見駅から車で約20分

DATA

☑ 鹿児島市喜入生見町、南九州市頴娃町



自然百選
099

湧水をたたえる親水空間



イデシコ 井手之河

県道245号が通る喜入生見町の丘陵地の麓に、豊富な湧水で形成された井手之河があります。鯉や小魚、カニ類などが生息しています。ここは、桜が植樹された井手之河池農村公園として整備され、市民が気軽に水辺にふれあえる憩いの広場となっています。その横には滝があり、流れ落ちる水は農業用水として使用されています。

アクセス*

- JR生見駅から徒歩約20分
- あいばす「生見公民館前」バス停から徒歩約5分

DATA

☑ 鹿児島市喜入生見町



自然百選
100

地域で育む信仰の森



チヨウチ 帖地の山の神が祀られる森林

森林の入口には、赤色の鳥居があり、その奥には岩石がご神体となって祀られています。枝打ちされたスギがずっと天に伸びる姿は美しく、雑木林の中を流れる清流は農業用水として周辺の田んぼを潤しています。近くには市の文化財に指定されている田の神の石像もあり、山の神とともに家族が元気で作物が豊作であることを祈る地域の人々に大切にされています。

アクセス*

- JR生見駅から徒歩約1時間
- あいばす「帖地公民館前」バス停から徒歩約5分

DATA

☑ 鹿児島市喜入生見町



※ダイヤ改正等により、バス停の名称等が変更される場合もあります。
※表記の行程時間は目安です。